

## ◎MAIN/NX,PRIME/NX バージョン3.0の新機能一覧 &lt;目次&gt;

## ■端末全般

	ページ
・ウィンドウバーに”自動的に隠す”スタイルを追加	2
・ユーザー画面のタブ順変更	4
・メインメニューが非表示に	4
・コマンドの説明付ツールチップを表示	5
・新規画面作成時にコンポーネントギャラリー(レイアウト、スナップイン、画面テンプレート)を表示	5
・コンポーネントのポップアップメニューに「クイックアクセスツールバー」を追加	5
・端末機能のツールバー削除と「機能」バー(レイアウト、スナップイン、テンプレート)の追加	6
・データサービスの切替ボタン	6
・「画面テンプレート」を追加、複雑なレイアウトをコピーしてテンプレートとして保存	7
・全画面表示でユーザー画面タブを表示	8
・「アラートウィンドウ」及び、「メッセージウィンドウ」のタブにフィードバック機能を追加	9
・リミット監視バーを追加	12
・ポップアップ画面のツールバーに”表示切替”ボタンを追加	14
・ポップアップ画面を表示する時、銘柄コードを自動的にコマンドラインで表示	14
・ポップアップ画面で表示されているコンポーネントを、ステータスバーに”ショットカット”として登録	15
・ステータスバーのフィールドに、表示・非表示のカスタマイズ	16
・新しい色のカラーピッカー	16
・ワークスペースウィンドウでフォント、色設定を一括で変更	17
・スタイルを保存する時に、スタイル種類を選択	19
・画面スタイルを一括変更する時に適用する種類の指定が可能	20
・検索ウィンドウの追加	20

## ■銘柄登録一覧

	ページ
・銘柄登録一覧でクオート表示を追加	21

## ■マーケットチャート

	ページ
・関連ニュースを追加	22
・価格帯別出来高(P/V)の値を表示	23
・日通しVWAP線の追加	23
・チャートのタイトルを非表示に	23
・スナップモードの追加	24
・分析チャートの追加	24
・ツールの追加	24
・一部の分析チャートでアラート機能を追加	24

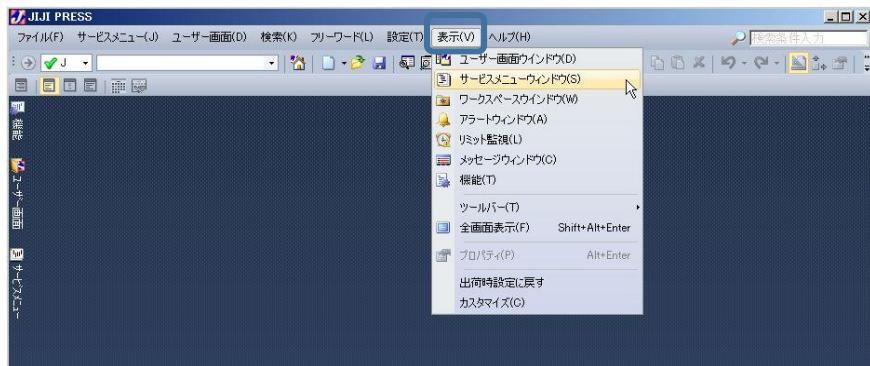
## ■過去データビューワー

	ページ
・ティックデータの日付時刻のコラムで、日付を非表示に	25

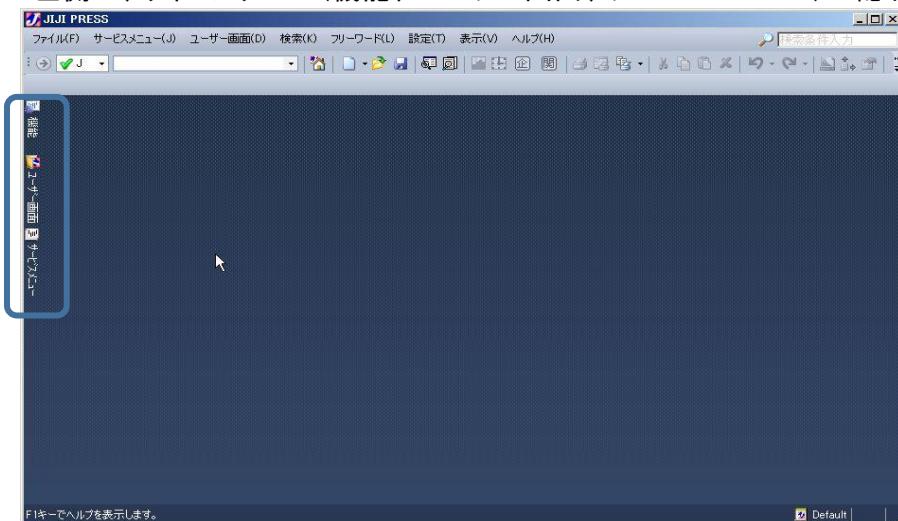
## ■端末全般

- ・ウィンドウバー(ユーザー画面、サービスメニュー、機能、メッセージウィンドウ、など)に、“自動的に隠す”スタイルを追加。

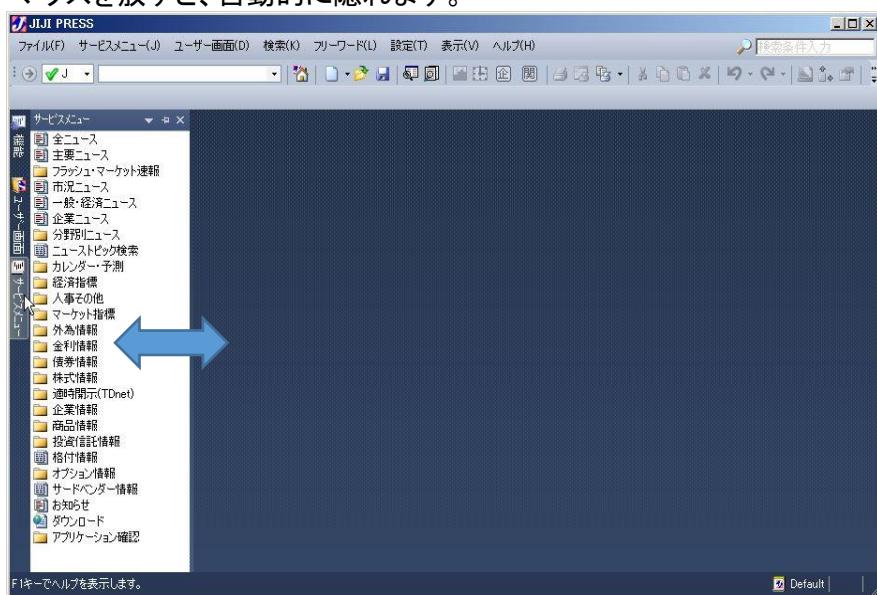
それぞれのウィンドウは、メインメニューの「表示」から選択できます。



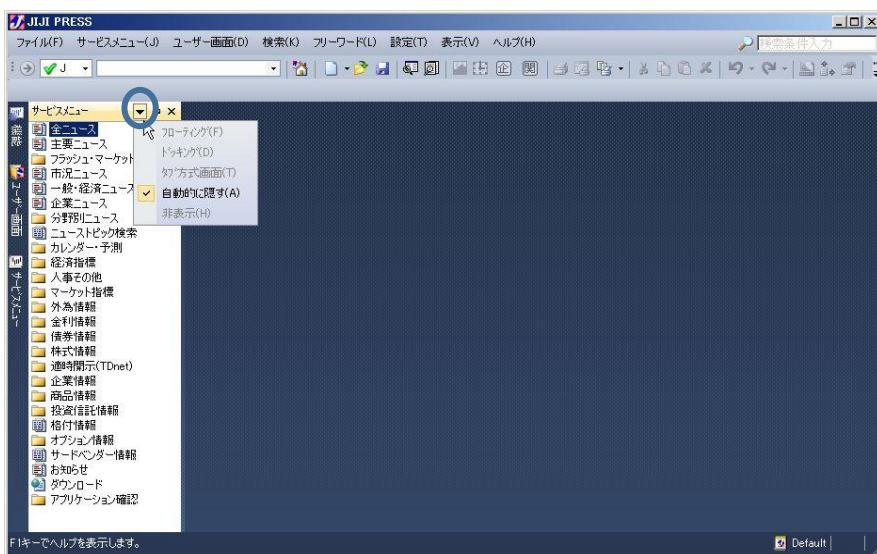
左側に、ウィンドウバー(機能、ユーザー画面、サービスメニュー)が隠れています。



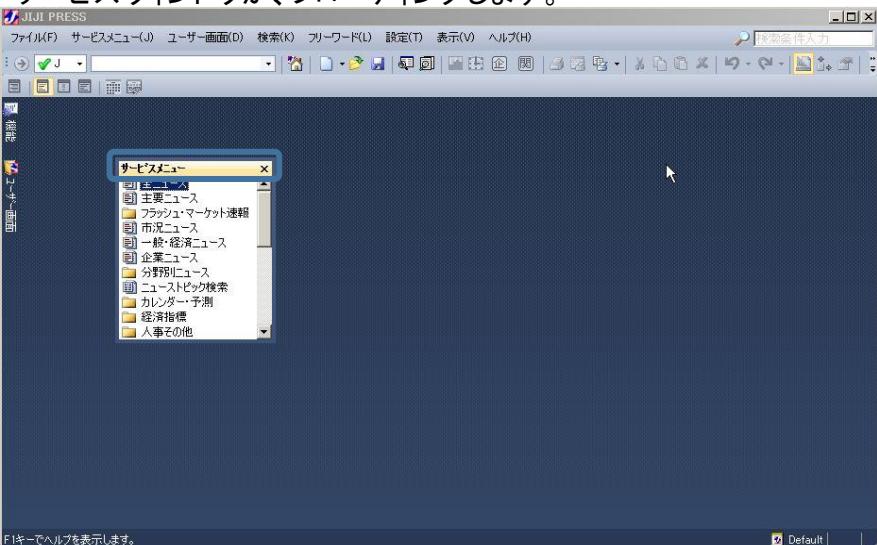
マウスを、ウィンドウズバーに合わせると、隠れていたバーが表示します。  
マウスを放すと、自動的に隠れます。



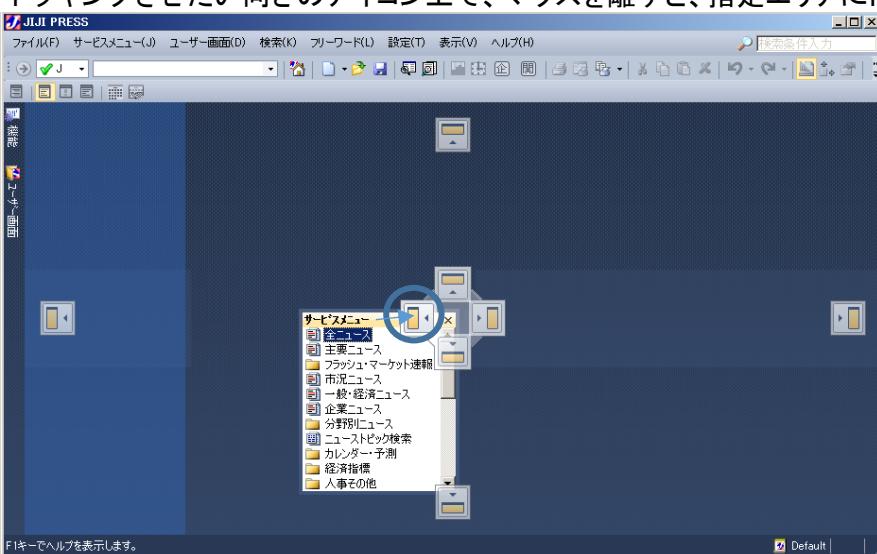
▼押下で、動作を選択できます。  
自動的に隠すのチェックを外し、フローティングを選択します。



サービスウィンドウが、フローティングします。



サービスメニューウィンドウのバー(黄色)部分をドラッグすると、矢印のアイコンが表示されます。  
ドッキングさせたい向きのアイコン上で、マウスを離すと、指定エリアにドッキングします。



・ユーザー画面のタブ順が変更できます。

移動したいタブを、マウスで選択します。

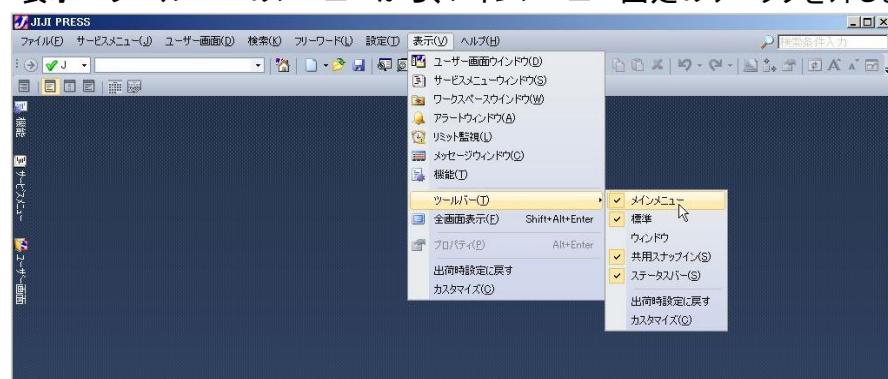


移動したいところへ、ドラッグすると変更されます。



・メインメニューが非表示にできます。

表示ツールバーのメニューから、メインメニュー固定のチェックを外します。



メインメニューが、非表示になりました。



「Alt」キー押下で、表示します。

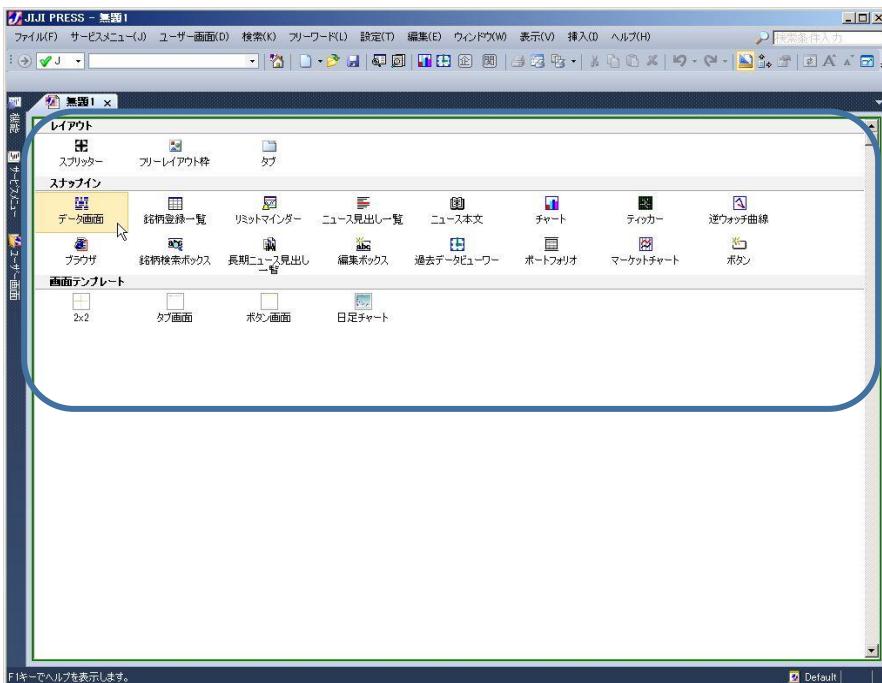


- ・コマンドの説明付のツールティップを表示します。

コマンドの上にマウスを合わせると、説明付のツールティップを表示します。



- ・新規画面作成時、コンポーネントギャラリー(レイアウト、スナップイン、画面テンプレート)を表示します。  
デザインモードで、コンポーネントを選択し、新規画面を作成できます。



- ・コンポーネントのポップアップメニューに、MicrosoftOfficeと同様に「クイックアクセストールバー」を追加。  
(旧アプリ、右クリックからの「アプリケーション」メニューと同じ内容)

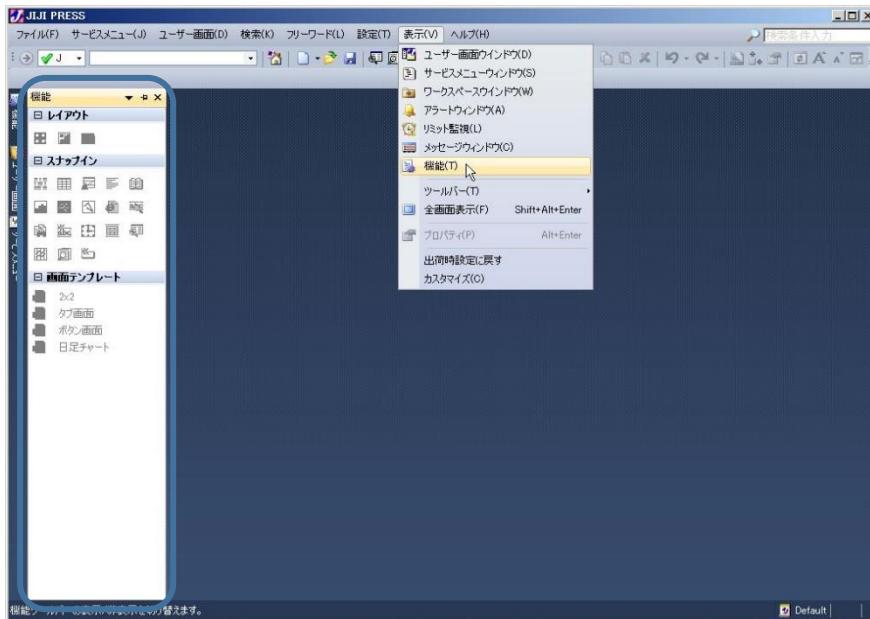
画面上で、右クリックすると、「クイックアクセストールバー」を表示します。

「クイックアクセストールバー」のアイコンを選択することで、コンポーネントを切り替えます。

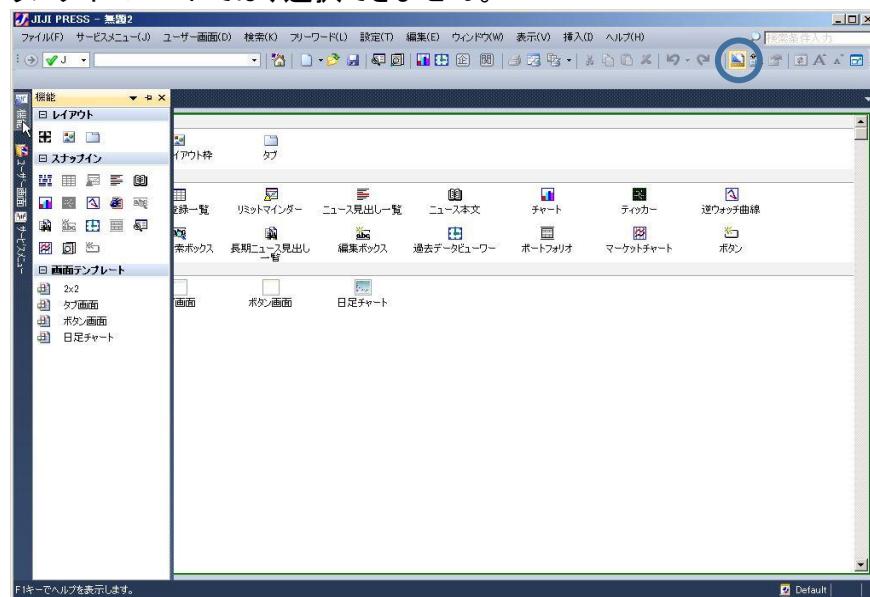


- ・端末機能のツールバーを削除、変わりに、「機能」バー(レイアウト、スナップイン、テンプレート)を追加。

メインメニューの「表示」→「機能」を選択すると、機能バーを表示します。



ユーザー画面を作成する際に、デザインモードに変更することで、機能が有効になります。  
ランタイムモードでは、選択できません。



- ・データサービスの切替ボタン。

データサービスの切替を行うと、各ソースの検索コードを直接入力して検索することが可能です。



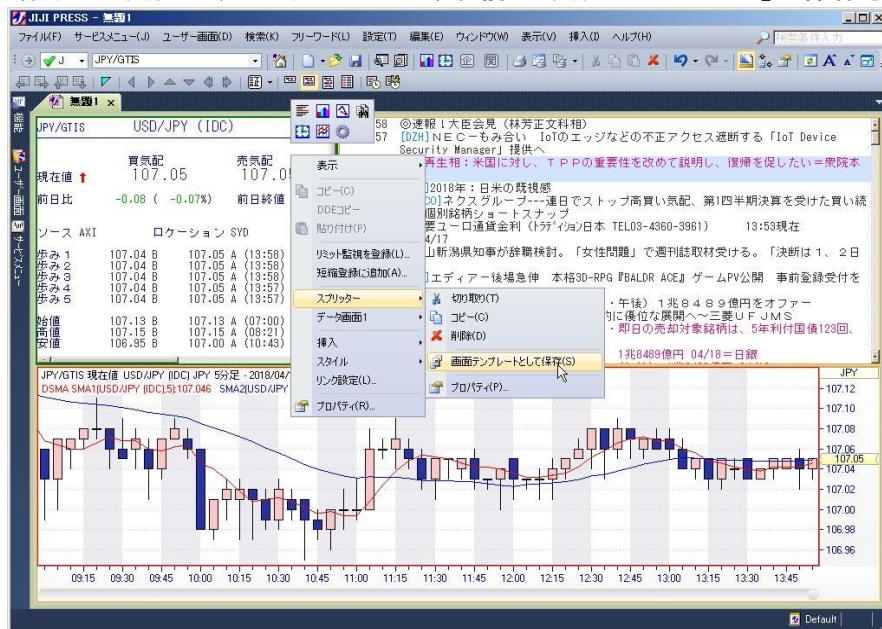
JSF(J):時事検索コード。

LCF(G):時事ローカルコード。入力例、M1/V

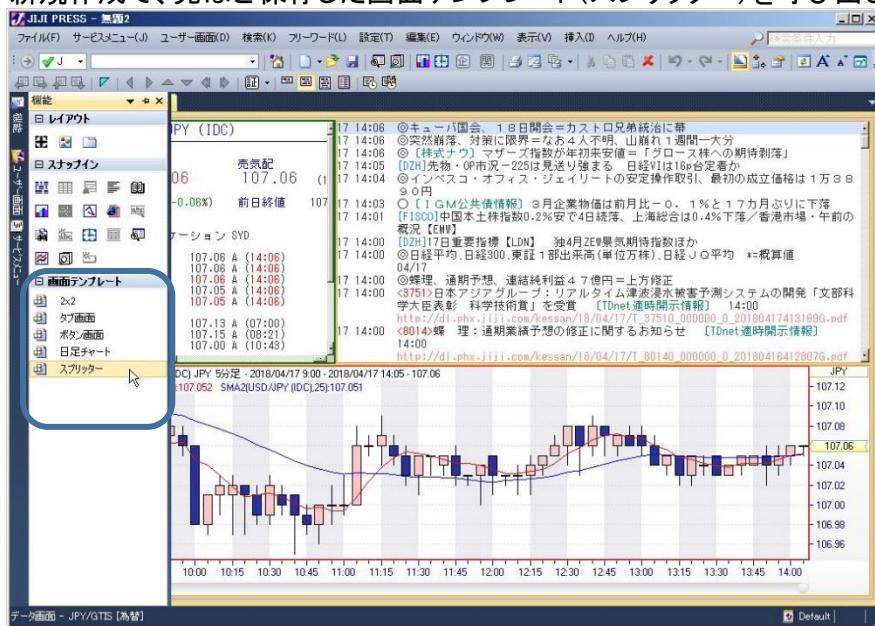
RTF(R):ロイター検索コード。入力例、/SHSI/SSE

・「画面テンプレート」を追加、複雑なレイアウト(リンクも含み)をコピー、テンプレートとして保存できます。  
新しい画面を作成する時に使用できます。「新規」メニューで画面テンプレートから新規作成できます。

新規作成から、デザインモードで新しいユーザー画面を作成します。  
ユーザー画面上で右クリック、「スプリッター」→「画面テンプレート」として保存を選択すると、  
作成した画面が、スプリッターという名前で「画面テンプレート」に保存されます。



新規作成で、先ほど保存した画面テンプレート(スプリッター)を呼び出します。

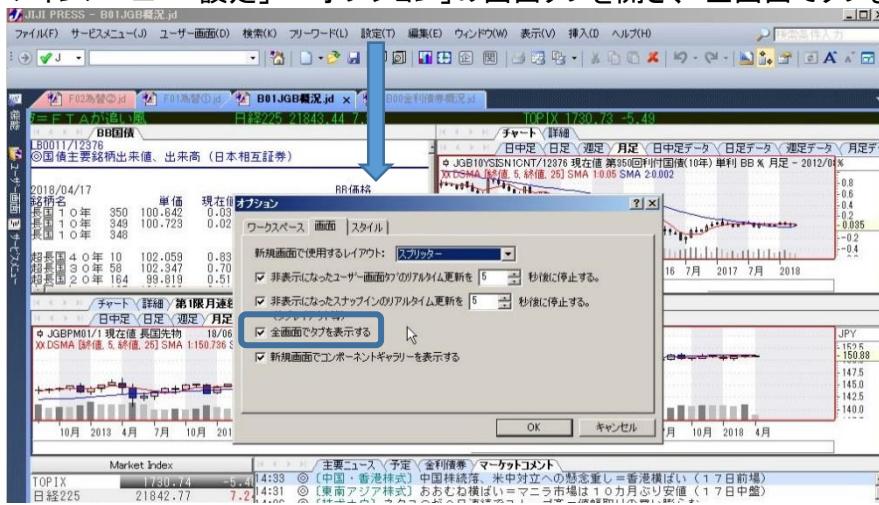


保存した画面テンプレートは、右クリックで名前の変更ができます。



・全画面表示で、ユーザー画面タブを表示します。

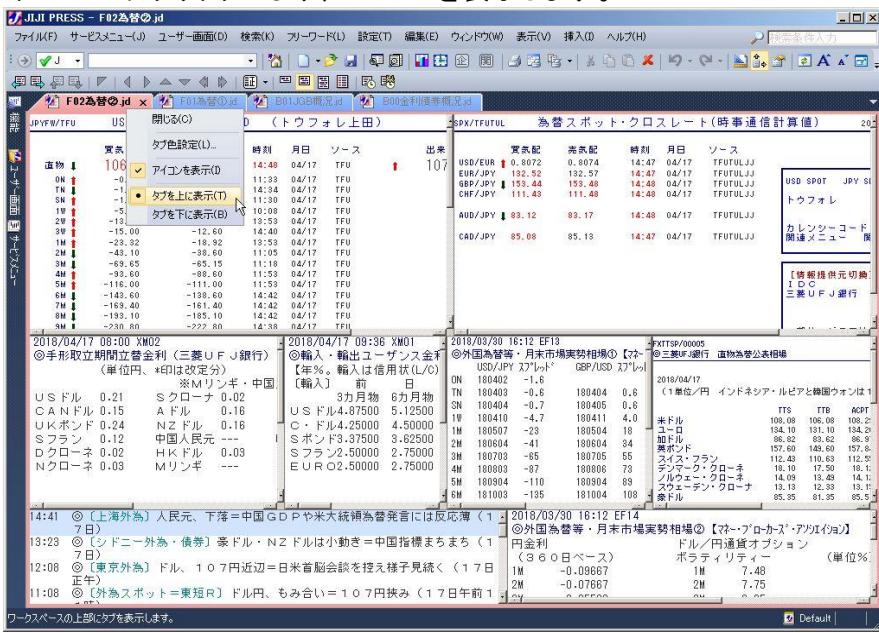
メインメニュー「設定」-「オプション」の画面タブを開き、「全画面でタブを表示する」にチェックします



メインメニュー「表示」-「全画面表示(Shift+Alt+Enter)」で、全画面表示します。



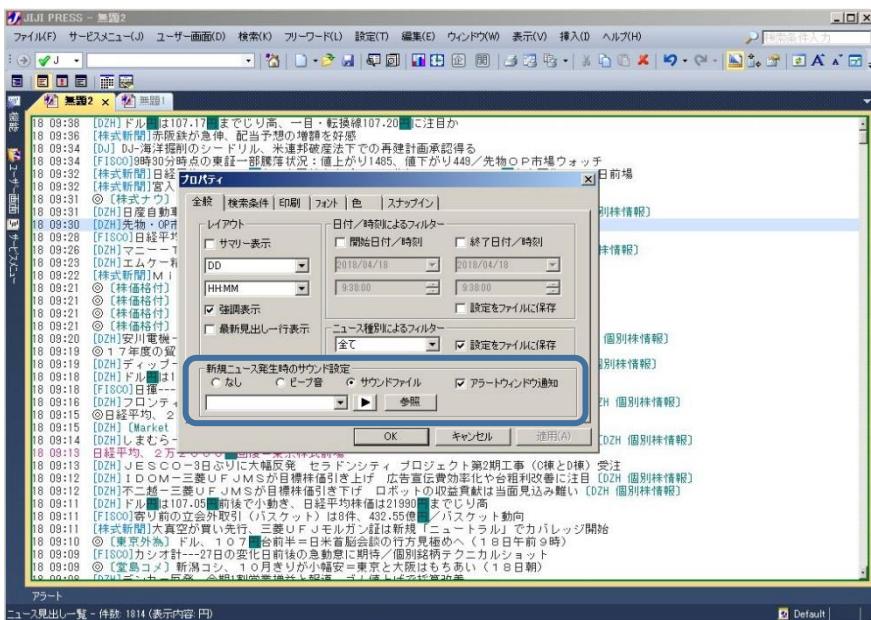
タブ上の右クリックにより、メニューを表示します。



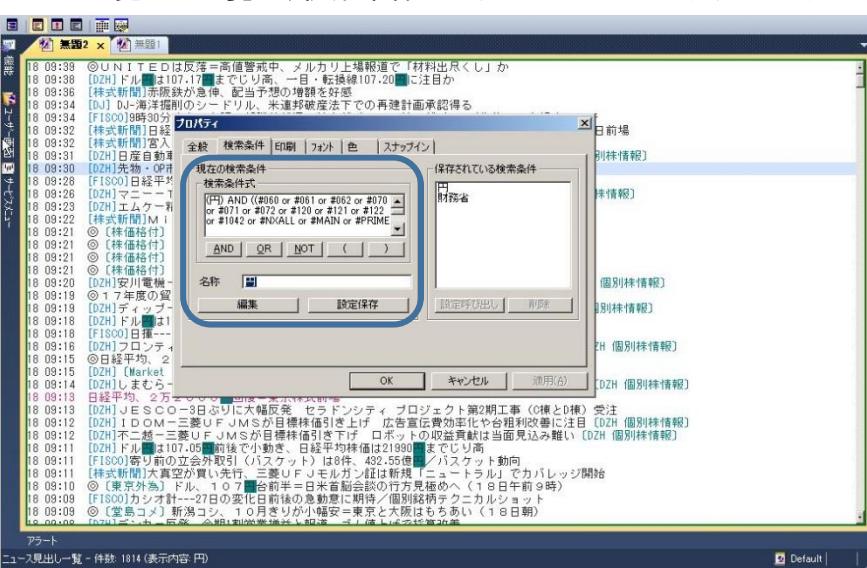
- ・「アラートウィンドウ」及び、「メッセージウィンドウ」のタブにフィードバック機能を追加。  
指定したタブに新規メッセージが入ったら、インフォバー やポップアップウィンドウで通知します。  
フラッシュやお知らせ、クリッピングしたニュースなど見落とさないよう利用できます。

クリッピングしたニュースを、フィードバック機能で通知する例。

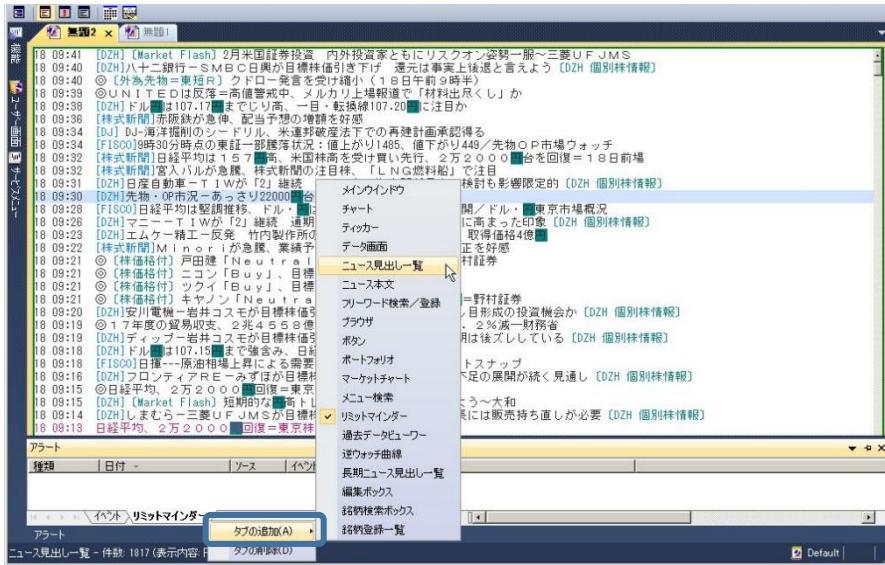
ニュース見出し一覧コンポーネントで、クリッピング設定後、「アラートウィンドウ」の設定をします。  
ニュース見出し一覧のプロパティを表示し、全般タブの”アラートウィンドウ通知”をチェックします。



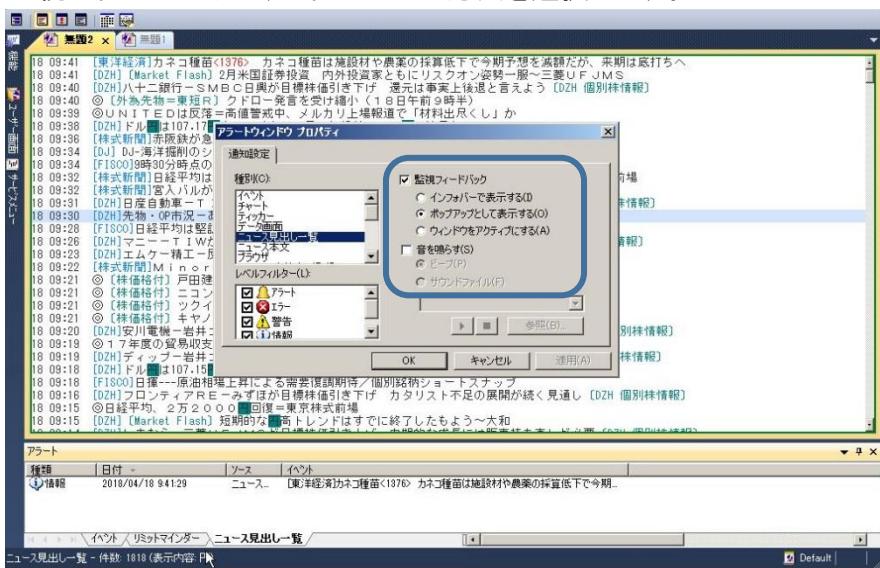
ニュース見出し一覧で、検索条件のフリーワード”円”でクリッピングした例です。



メインメニュー「表示」→「アラートウィンドウ」を開きます。  
アラートウィンドウのタブ上で右クリックし、タブの追加、ニュース見出し一覧を表示。

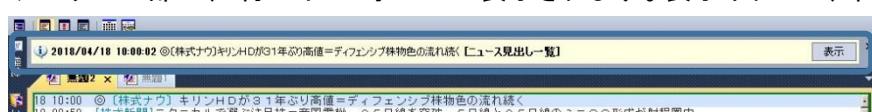


アラートウィンドウ上で、右クリックしプロパティを表示します。  
監視フィードバックで、フィードバック方法を選択します。

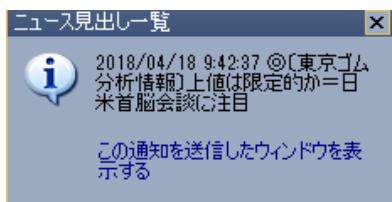


## 監視フィードバックの表示例。

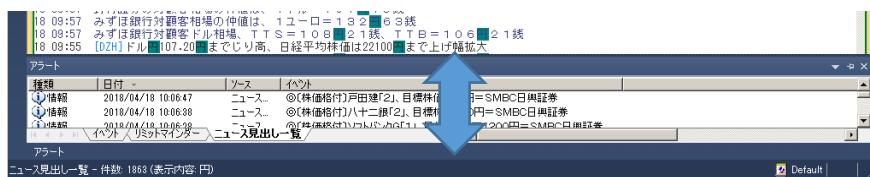
\*インフォバーで表示。  
アプリの上部に、1行でインフォバーが表示されます。表示ボタンで、本文を表示します。



\*ポップアップウィンドウで表示。  
画面右下にポップアップ表示します。



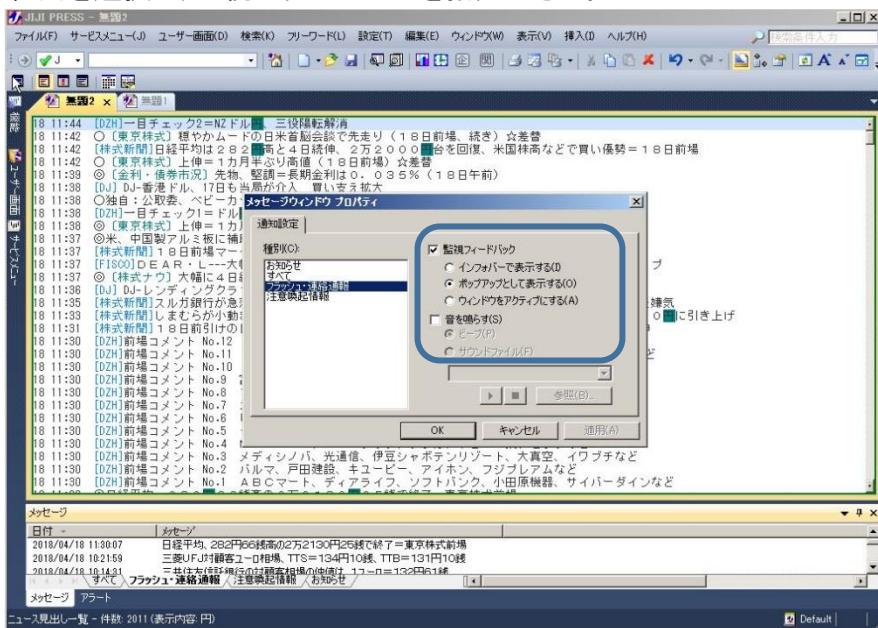
\*ウィンドウをアクティブにする。  
隠れているアラートウィンドウが、持ち上がり表示します。



\*音を鳴らす。  
ビープ音、またはサウンドファイルを指定して下さい。

「メッセージウィンドウ」で、フラッシュニュースなどフィードバック機能で通知する例。

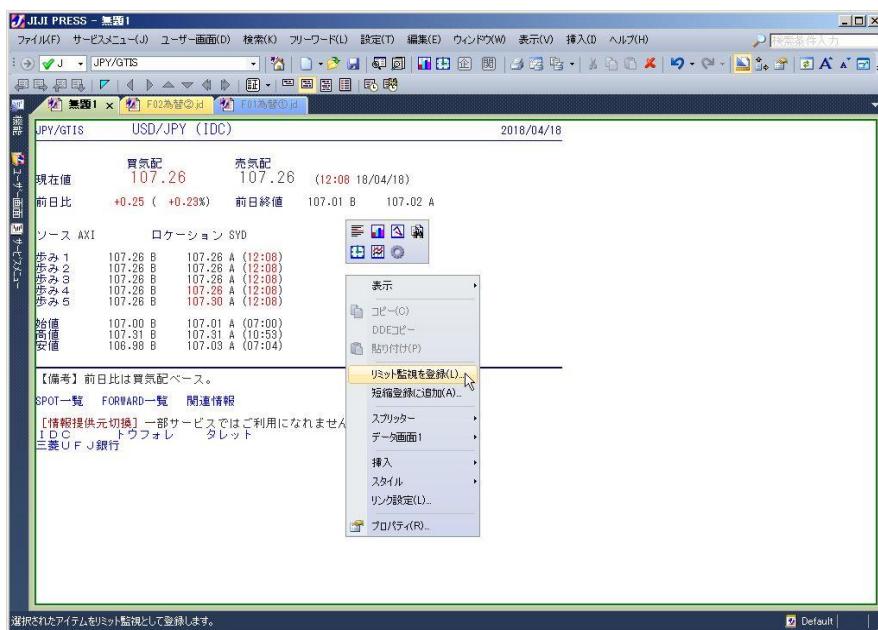
メインメニュー「表示」—「メッセージウィンドウ」を開く。  
メッセージウィンドウ上で右クリックし、プロパティを開き、  
種別を選択し、監視フィードバックを指定下さい。



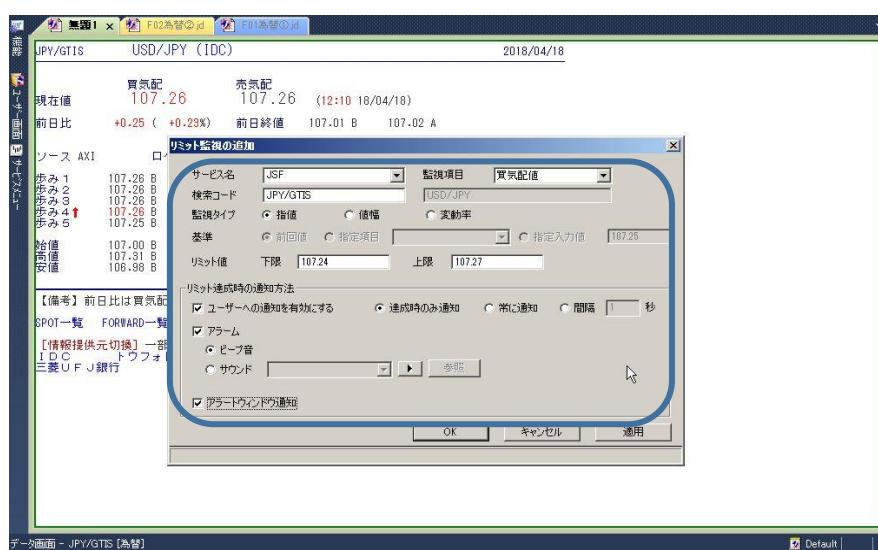
- ・リミット監視バーを追加。  
コンポーネントの上右クリックで、表示したポップアップメニューから「リミット監視を登録」を選び、選択銘柄にリミット監視を登録することができます。

ドル/円(JPY/GTIS)で、リミット監視を設定した例。

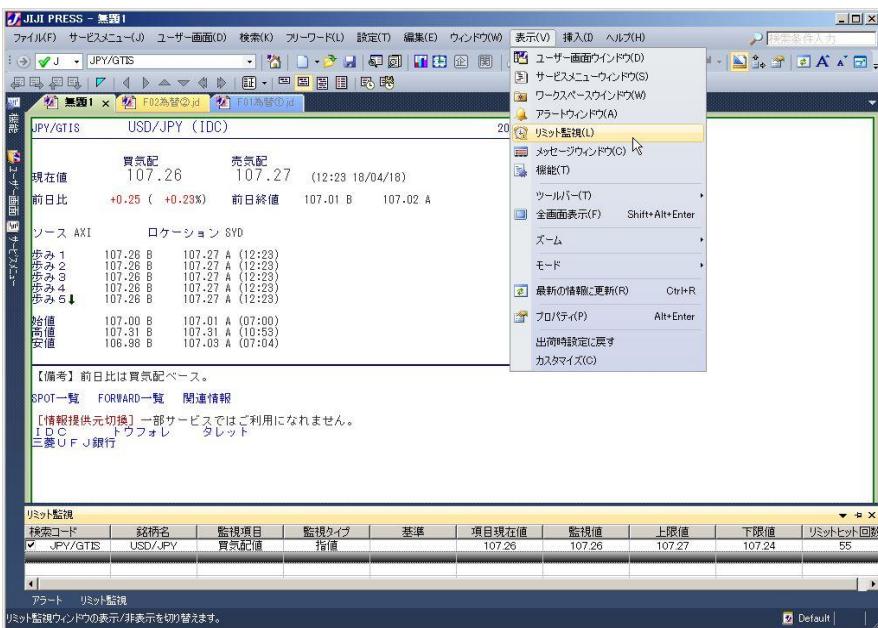
コンポーネント上で右クリック、”リミット監視を登録”を選択する。



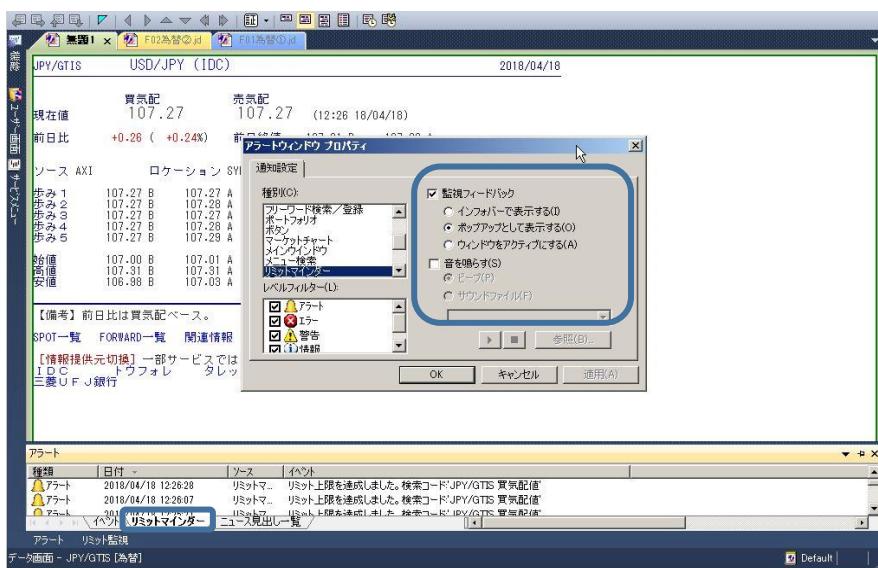
リミット監視の追加ウィンドウで、監視項目、監視タイプを設定します。  
また、リミット達成時の通知方法で、通知方法を設定します。



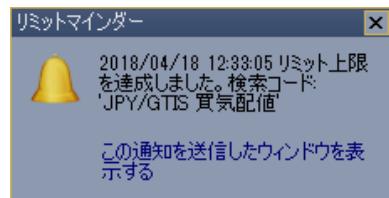
## 「リミット監視バー」に設定が登録されます。



監視値を超えると、アラートウィンドウのリミットマインダータブに表示されます。  
監視フィードバック設定により通知されます。

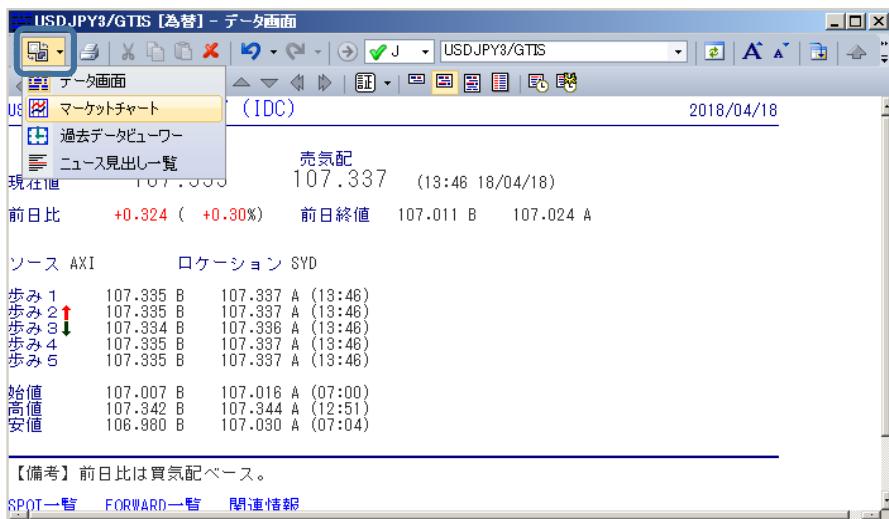


## リミット通知例。ポップアップ表示。

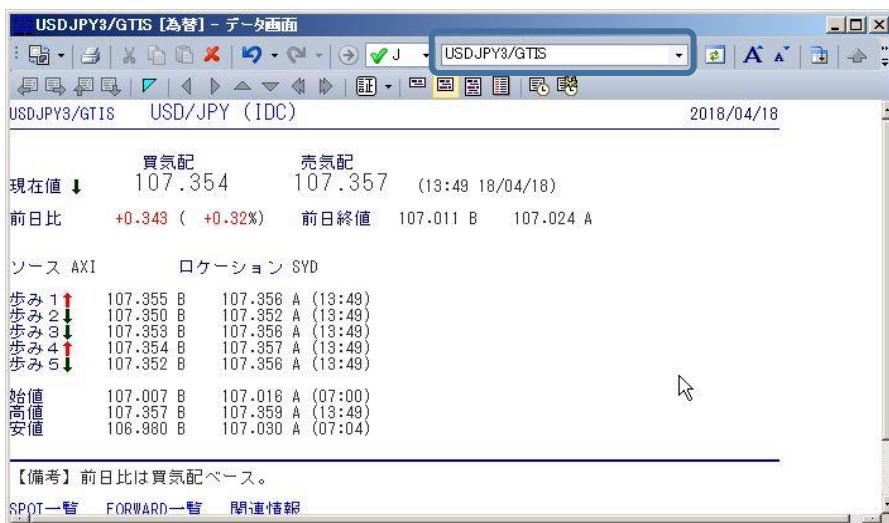


- ・ポップアップ画面のツールバーに”表示切替”ボタンを追加。  
同じポップアップで、同じ銘柄を別のコンポーネントで表示が出来ます。

例えば、データ画面 → マーケットチャート → 過去データビューウー → ニュース見出し一覧、  
新たなポップアップ画面を表示せず、そのまま表示を切り替えられます。

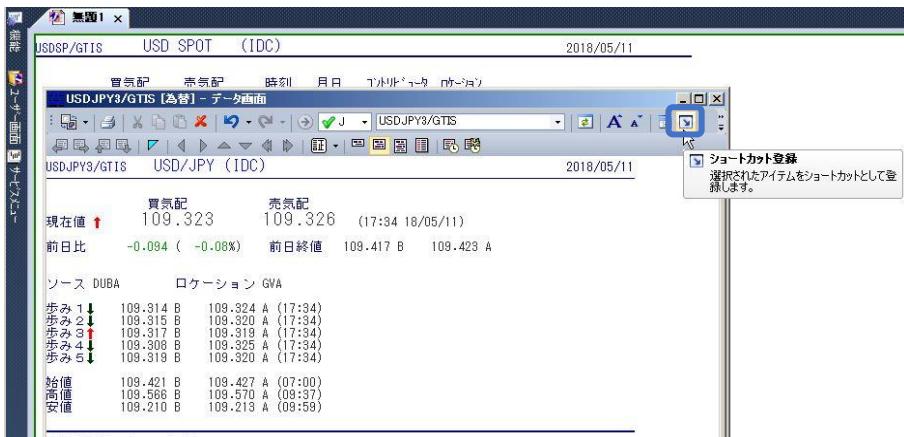


- ・ポップアップ画面を表示する時、銘柄コードを自動的にコマンドラインで表示します。

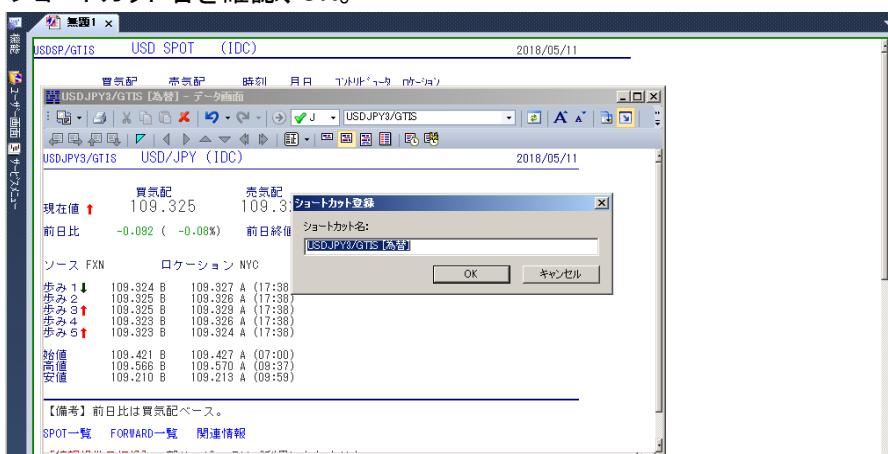


- ・ポップアップ画面で表示されているコンポーネントを、ステータスバーに”ショートカット”として登録できます。ステータスバーからワンクリックで表示できます。

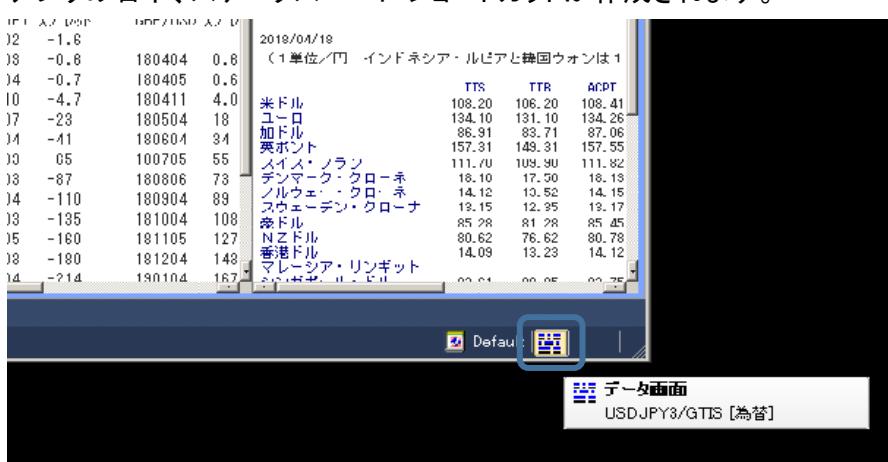
ポップアップ画面のツールバーで、ショートカット登録を選択。



ショートカット名を確認、OK。

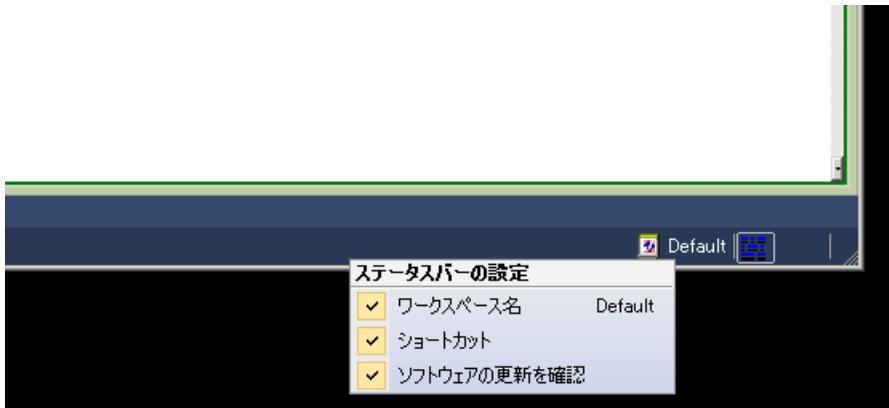


アプリの右下、ステータスバーにショートカットが作成されます。



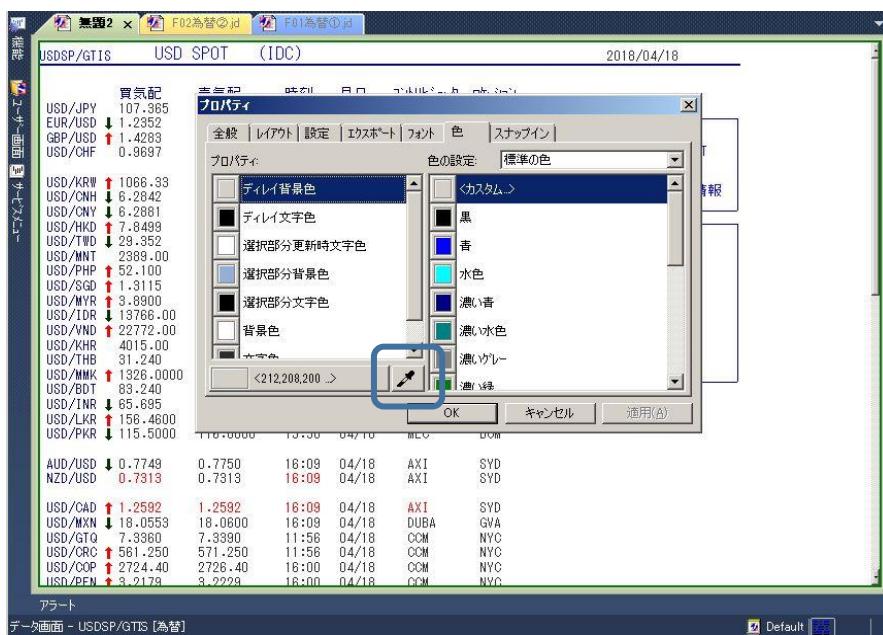
- ・ステータスバーのフィールドは、表示・非表示のカスタマイズができます。

ステータスバー上で、右クリックすると設定メニューが表示されます。



- ・新しい色のカラーピッカー。

「スポット」アイコンをクリックしますと、マウスカーソルはスポット形に変わります。スポットを動かし、スポット下の、エリアの色を登録したいところでクリックします。プロパティページで、OKボタンをクリックすれば、新しい色が登録されます。

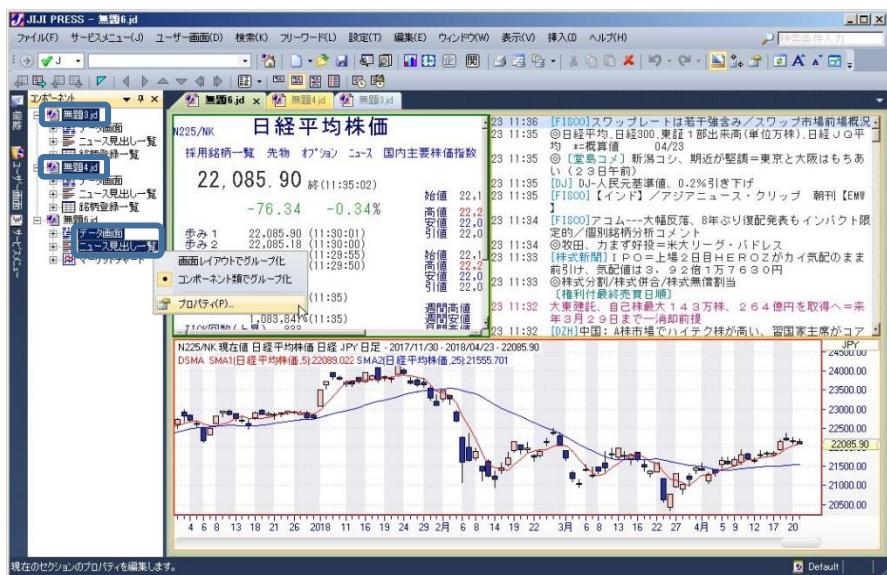


・ワークスペースウィンドウで、複数のコンポーネントを選択し、  
フォント、色設定を一括で変更することができます。

メインメニュー「表示」→「ワークスペースウィンドウ」を開く。コンポーネント一覧を表示。  
この一覧はコンポーネント類でグループ化、画面レイアウトでグループ化を選択できます。  
コンポーネント類では、各画面に設定されているコンポーネントを種類毎で表示します。

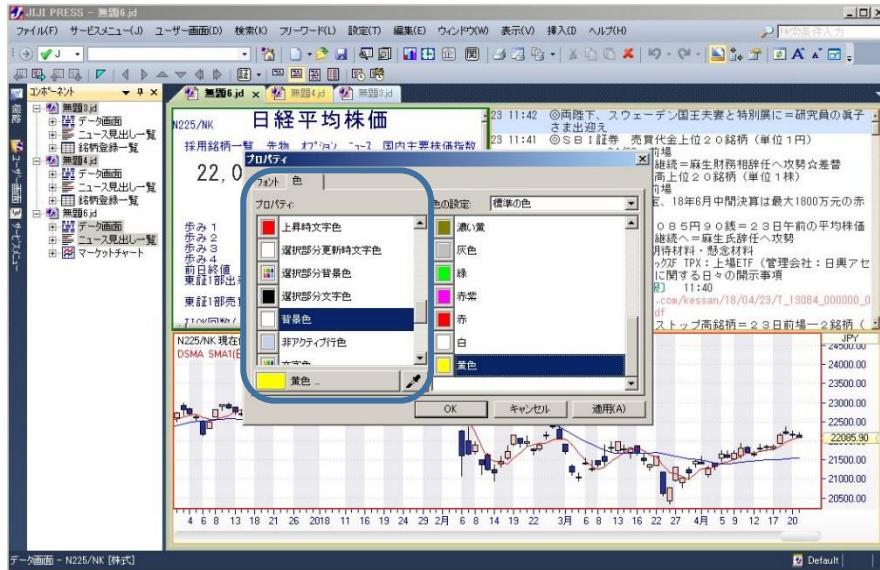


フォント、色を変更したい個別コンポーネント、グループ、画面全体を、  
「Ctrl」キーを押しながら複数選択して、"プロパティ"をクリックします。  
無題3.jd、無題4.jd、無題6.jdのデータ画面とニュース見出し一覧を選択した例。

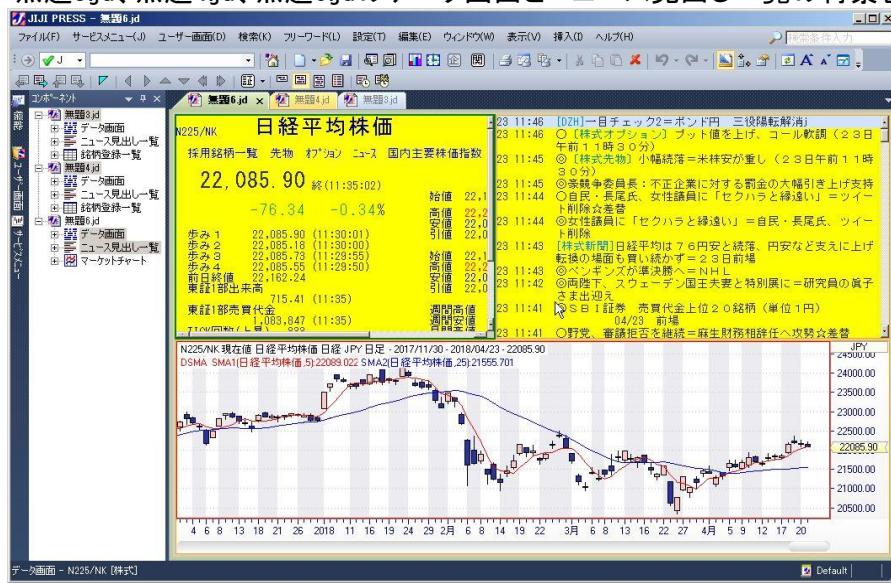


プロパティの「フォント」「色」タブに、選択された全コンポーネントの、フォントと色プロパティの一覧を表示。

背景色を黄色に変更する例。



無題3.jd、無題4.jd、無題6.jdのデータ画面とニュース見出し一覧の背景色が黄色に変更された。



- スタイルを保存する時に、スタイル種類を選択することができます。  
例えば、色のみ、フォントのみをスタイルとして保存します。

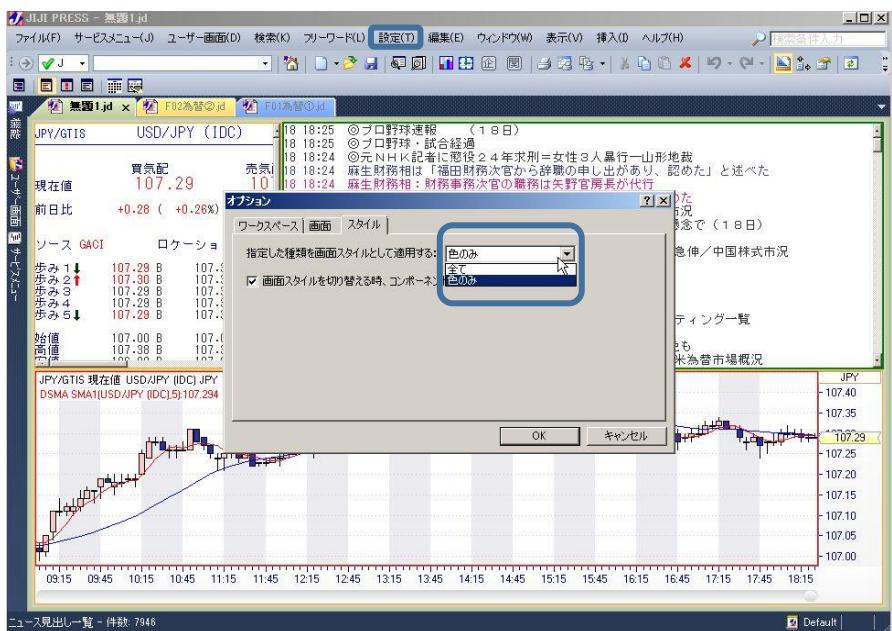
デザインモードで、コンポーネント上に右クリックして、  
ポップアップメニューから「スタイル」→「名前付けて登録」を選択



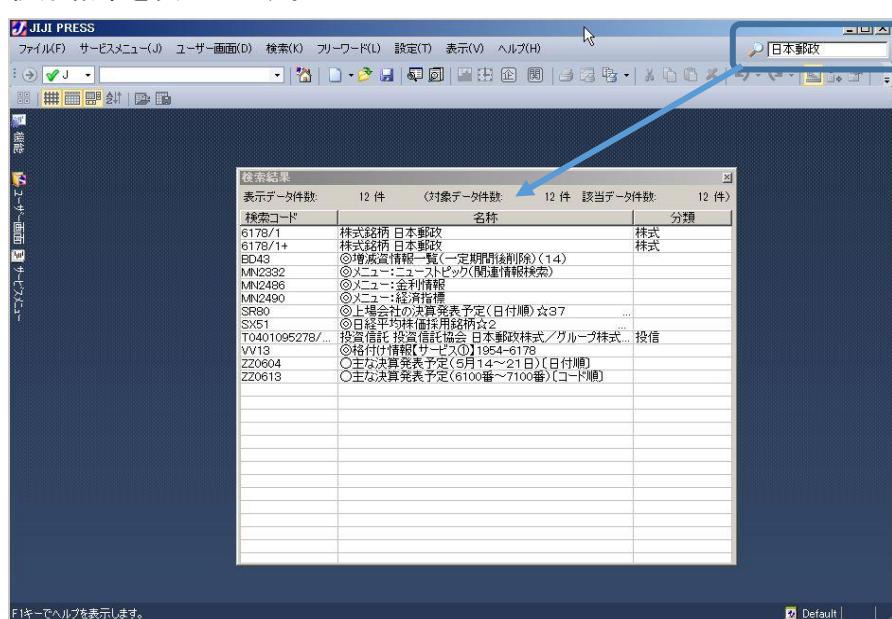
スタイル種類の選択で、色のみ、フォントのみを選択できます。



- ・画面スタイルを一括変更する時、適用する種類を指定することができます。  
デザインモードで、メインメニューから「編集」→「画面スタイル」で  
画面に入っている全コンポーネントのスタイルを一括で指定します。
- デフォルトで、色のみのスタイルを適用しますが、スタイル種類を、「設定」→「オプション」ダイアログの「スタイル」タブで指定することができます。



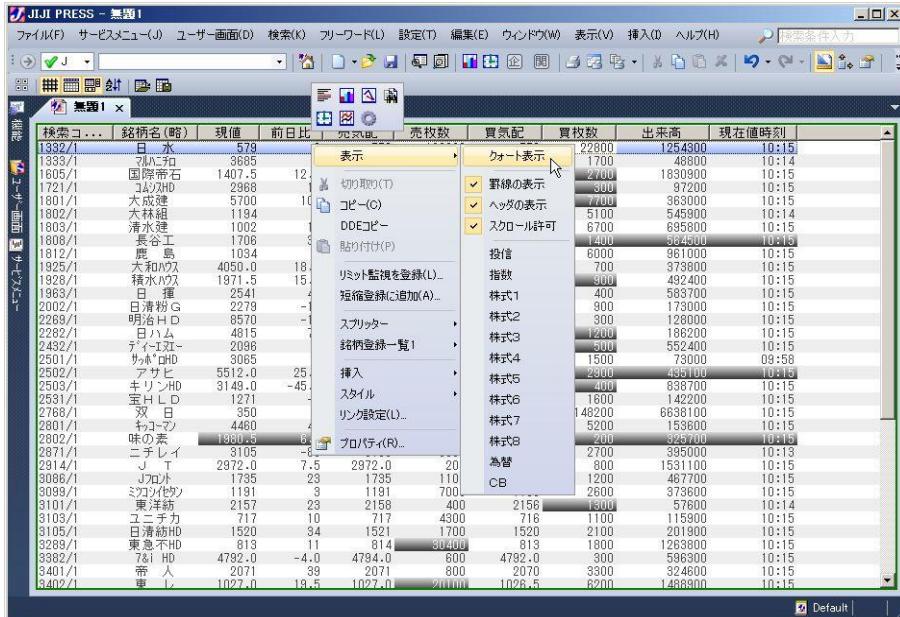
- ・検索ウィンドウの追加。
- メニュー や 銘柄検索を、右上の検索ウィンドウから検索できます。  
右上の検索ウィンドウに、フリーワードで文字を入力し、Enterキーを押下。  
検索結果を表示します。



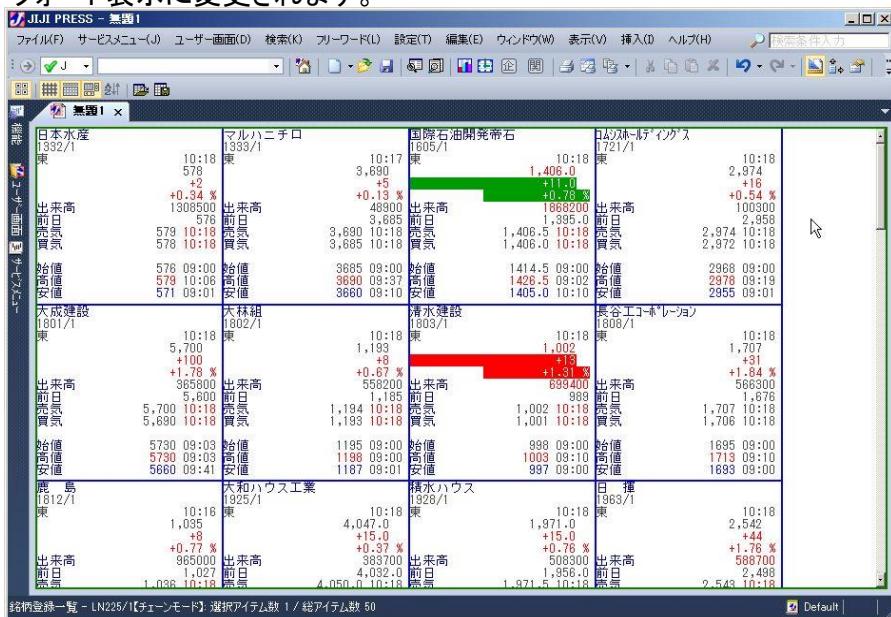
## ■銘柄登録一覧

・銘柄登録一覧で、クオート表示を追加。

銘柄登録一覧を表示し、コンポーネント上で右クリック、「表示」→「クオート表示」を選択する。



クオート表示に変更されます。



■マーケットチャート  
・関連ニュースを追加。

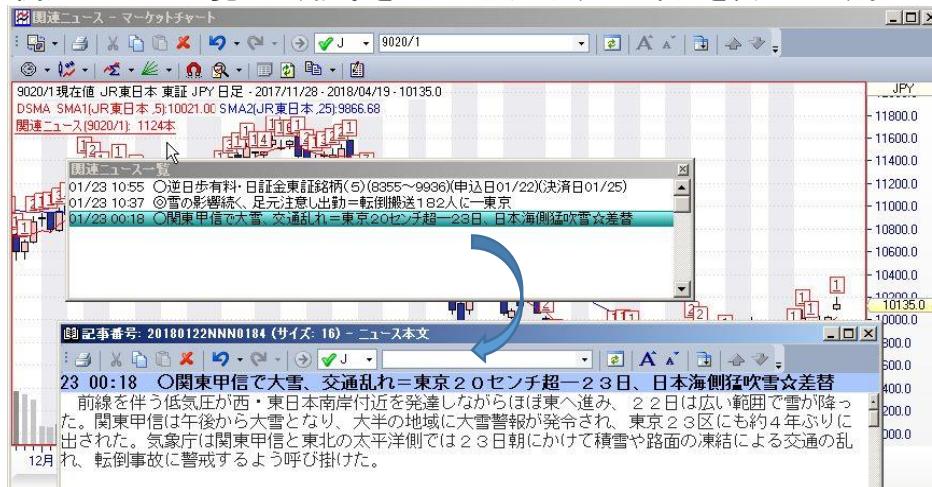
マーケットチャートの関連ニュースを選択。



関連ニュースがあると、チャート上に、□で囲まれた数字が表示されます。  
マウスで選択すると、当日の関連ニュース一覧を表示。



関連ニュース一覧から、記事をダブルクリックすると本文を表示します。



- ・価格帯別出来高(P/V)の値を表示。



- ・日通しVWAP線の追加。



- ・チャートのタイトルを非表示に変更できます。

チャート上で右クリック、詳細からパラメータウィンドウで、タイトルの表示を選択



・スナップモードの追加。

スナップモードをオンにすると、ツールをクリックしてマウスで移動する際に、チャート上に表示されているチャートの足4本値のポイントに、簡単にスナップできます。トレンドラインを引いた例。



・分析チャートの追加。

高値/安値・チャネル (HIGHEST+LOWEST)、出来高 (VOL)、強弱レシオ (ROS)

・ツールの追加。

回帰線、Raff回帰チャネル、標準偏差の回帰チャネル、標準誤差の回帰チャネル、四分割線、三分割線、スピードライン、アンドリュース・ピッチホーク

・一部の分析チャートで、アラート機能を追加。

例：移動平均にゴールデンクロス・デッドクロス

単純移動平均線(DSMA)を表示し、チャート上で右クリックで「詳細」を表示します。

パラメータウィンドウで、DSMAを選択し、

”ゴールデン/デッドクロス”の通知パラメータを”あり”に変更。

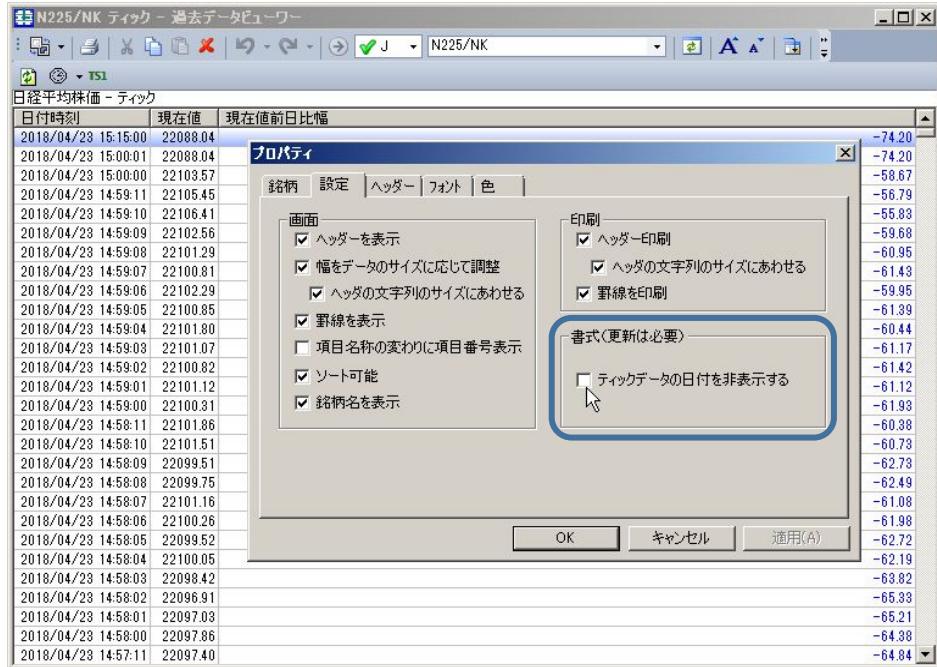
アラートウィンドウのタブに、マーケットチャートタブを追加すると、アラートを表示します。



## ■過去データビューウィンドウ

- ・ティックデータの日付時刻のコラムで日付を非表示することができます。

過去データ画面上で、右クリック、プロパティを表示。  
設定タブの、”ティックデータの日付を非表示にする”にチェックを入れる。



再度、更新すると、日付が非表示になります。

